

現職研修の在り方を考える

現職研修としての体育の授業研究 シンポジウム

日本の授業研究は、1990年代以降、Lesson Studiesとして世界各国に広がり、算数・数学科や理科、社会科学等の授業改善及び教師の成長の方法として普及している一方、体育の授業研究は十分に普及していない。本シンポジウムでは、日本の校内研修における授業研究の意義を再度確認するとともに、中国の小学校体育専科教員を対象に、現職研修で行われている体育の授業研究の現状と課題を紹介していただき、我々が求めるべき校内研修としての授業研究の運営方法や役割について検討したい。

主催：広島大学大学院教育学研究科 初等カリキュラム開発講座 木原研究室

後援：広島県教育委員会、広島市教育委員会<申請中>、初等教育カリキュラム学会、広島大学学習システム促進研究センター

日時 2017(平成29)年 7月4日(火) 15:00~16:45

場所 会場：広島大学附属小学校 3階 特別教室 3

◎ 特別教室は附属小学校校舎3階です。附属小学校正門から校舎に入り、児童昇降口前の階段を3階に上がってください。

◎ 会場については、広島大学附属小ホームページにてご確認ください。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/fushou/access.html>

◎ JR広島駅からは、市内電車(広島電鉄5号線・比治山下経由)に乗車し、「広大附属学校前」で下車すると、すぐです。

◎ 車でお越しの場合、附属学校入り口で守衛に、事前申し込みの際に送付した駐車券を提示して、附属小学校内の指定された場所に駐車してください。



プログラム

- | | |
|-------------|--------------|
| 14:30~15:00 | 受付 |
| 15:00~16:00 | 発表 (久保氏、林楠氏) |
| 16:00~16:40 | 質疑・意見交換(分散会) |
| 16:40~16:45 | まとめ |

参加費：無料

参加希望の方は別紙申し込み用紙にご記入のうえ、FAXで送信、またはメールのPDF添付で送付してください。当日参加も受け付けます。

シンポジウム：現職研修としての体育の授業研究

- 久保 研二氏 (島根大学教育学研究科・教育実践開発専攻・講師)
「校内研修における体育授業研究の意義」
- 林 楠 (リンナン) 氏 (中国、浙江大学教育学院・講師)
「中国(浙江省)における体育授業研究の現状と課題：中国杭州市の初任者研修における授業研究」

司会：木原成一郎 (広島大学教育学研究科・教授)

〈お問い合わせ先〉

広島大学教育学研究科 初等カリキュラム開発講座

木原成一郎 直通電話&FAX：082-424-7154

メールアドレス：kihara*hiroshima-u.ac.jp

(メールアドレスは、*を@マークに代えて発信してください。)

広島大学附属小学校

中西紘士 直通電話&FAX：082-251-3045

メールアドレス：hiroshina*hiroshima-u.ac.jp

本プロジェクトは、日本学術振興会平成29年度科学研究費助成事業の支援を得て運営されています。

現職研修としての体育の授業研究 シンポジウム（広大附属小） 参加申込書

送付先：広島大学附属小学校 体育科研究室
 FAX送付先:082・251・3045（体育科研究室）
 メールアドレス：hiroshina*hiroshima-u.ac.jp
 *を@に変えて送付してください。

ふりがな		
氏名		
所属機関		
連絡先	TEL	()
	e-mail	@
駐車券が（ 必 要 / 必 要 な し ）		
本人以外に参加者がいる場合は 本人以外的人数を書いてください	() 人	

※ 駐車券発行の関係で、申し込みの締め切りを6月30日（金）とさせていただきます。